



NewTek 社、次期メジャーバージョン「LightWave 10」を発表

ビューポート・プレビュー・レンダリング(VPR)、インスタント OpenGL シェーディングビュー、高度なデータ互換機能、そして、没入型ビジュアルイゼーションツール等を含む、最も先進的な 3D テクノロジー」をサポート

米国 NewTek 社(本社:テキサス州サンアントニオ市)は、2010年7月27日、米国ロスアンゼルスにて開催されたコンピュータグラフィックス業界の世界最大の展示会「SIGGRAPH 2010」で LightWave の新バージョン「10」を発表いたしました。

LightWave 10 は、NewTek 社が開発した新テクノロジー「CORE」と、従来のモデラーおよびレイアウトが統合される最初のバージョンとなる LightWave 3D です。この CORE、モデラー、レイアウトの三つが連動することにより、LightWave ユーザーはこれまで慣れ親しんだワークフローおよび機能性を損なうことなく、更に革新的でインタラクティブな CORE テクノロジー機能を利用することが可能となります。

LightWave 10 は、他の 3D アプリケーションではお目にかかれないユニークな機能をアーティストに提供します。このユニークな機能として、ビューポート・プレビュー・レンダリング(VPR)、CG ハードウェアエンハンスメントなどがあり、これらの機能を使うことにより、ユーザーはシーンやオブジェクトの設定作業しながら、レンダリングした画像に近い状態のまま修正箇所を即座に確認したり、OpenGL ビュー上でアンビエントオクルージョンやブルーム、ステレオスコピックアナグリフ、HDRI 背景画像をリアルタイムに確認できるようになります。加えて、パイソンベースのエクスペリメンテーションやスクリプティング、Bullet リジッドボディダイナミクス、洗練された UV マップツール群など、次世代 CORE テクノロジーを持つモデラーおよびレイアウト機能を提供します。

さらに LightWave 10 では、新しく没入型(バーチャル空間内部より経験できる)リアルタイム仮想映画撮影技術(Cinematography)とゲーム開発ツールが提供されます。これらソリューションは、映画「Avatar」、「Tintin」、「A Christmas Carol」などの実際の映画制作に携わったハリウッドのアーティストおよび技術者によって研究開発された技術です。プロダクションスタジオやスペシャリストな個人クリエイターにはバーチャルカメラシステム「InterSence VCAM」がサポートされ、3Dconnexion 社製品の 3D マウスのラインアップもサポートされました。これらの強力なテクノロジーの組み合わせによって、3D 空間において、よりリアルタイムに、よりインタラクティブに、ディレクターとアーティスト間のスムーズなコミュニケーションを実現します。

クリーチャー・リギングのスペシャリストである Line Grandi 氏は、LightWave 10 の新機能について、以下のようにコメントしています。

「LightWave 10 のプレビュー機能の大幅な改善によって、パワフルかつ柔軟に作業ができるようになりました。」

VPR 機能によって複雑なリギング設定を、リアルタイムに高品質画像をレンダリングしながら作業を行うことができます。キャラクターのリギング作業を、ライティング、テクスチャー、反射、透明度、ラジオシティなどの効果全てを、ビジュアル的に確認しながら作業することができるのです。」

LighWave 10 は、多くのスタッフが関わる制作現場から、少数精鋭のスマール・スタジオまで、どんな制作パイプラインにおいても柔軟に適用できる理想的なツールです。

LightWave 10 の主な新機能は以下の通りです。

◆インタラクティブディスプレイおよびレンダリングツール

・ビューポート・プレビュー・レンダリング(VPR)

シーン上の照明、ノード編集時のシェーディング、そして、シーン上のオブジェクトの配置などを、インタラクティブに、かつリアルなプレビューを瞬時に表示可能

・新しい CG ハードウェア・リアルタイム・ビューポート・シェーディングの強化

アンビエントオクルージョン、ブルーム、ステレオスコピックアナグリフおよび HDR1 背景イメージのリアルタイム OpenGL 表示

・リニアワークフロー

よりリアルなライティングおよびプロレベルのパイプラインにおける合成の柔軟性を最大限に引き出すため、ガンマ、カラースペース、カスタムのルックアップテーブル(LUT)をサポート

◆データ互換性の拡張

・MDD(シーンファイル)拡張と、Autodesk ジオメトリキャッシュのサポート

アニメーションや物理演算、エフェクト、レンダリング用のパイプラインをきわめて柔軟性が高く、拡張可能にするための、変形および変換に関する自由度の向上

・COLLADA、FBX、ZBrush との互換性改善

COLLADA: カメラデータ、ライト、オブジェクトの置き換え、画像マップなど、アプリケーションから別のアプリケーションへのデータ転送の容易化

FBX: カメラデータ、ライト、UV マップおよび画像マップ付オブジェクト、階層構造の読み込みおよび保存

ZBrush: ZBrush からの UV マップの転送および操作の容易化

◆新しい没入型リアルタイム系機能とゲームツールの追加

・長編映画の Virtual Art Departments(VAD)で導入された仮想カメラ「InterSense VCam」のサポート

・3Dconnexion 社製品、3D マウスラインナップのサポート



◆リジット・ボディ・ダイナミックスの強化

・ダイナミックスとシュミレーションの統合:

建物の崩壊やガラスが割れるといったエフェクトに対する物理演算の作成、計算、シミュレーション

◆UV マッピングツールの強化

・新 UV ツール

移動、スケール回転、移動、分離、スティッチ、リラックス、UV アンラップなどに加え、UV と自動テクスチャーノードのカメラ設定



現在、NewTek 社、3D 開発チーム副社長であり、長年多くの映画制作のVFXのクリエイターやディレクターとして 3DCG 業界に従事してきた Rob Powers 氏は、LightWave について以下のようにメッセージを送っています。

「個人クリエイターやスタジオが LightWave を使用して制作した作品は、毎年多くの賞を受賞しており、それ自身が LightWave

の Powerful さを実証しています。LightWave は 3DCG 業界において、スタジオや個人クリエイターがスケジュール通りに、予算枠内で、しかも収益をあげながら、作品を作り出すツールであることを、明白に実証しています。もしも映画や、ゴールデンタイムのテレビ番組、コマーシャル、ミュージックビデオ、SFX 番組に携わっていて、制作工程の中でまだ LightWave を使っていないのなら、使うことをぜひ真剣に検討してみてください。」

◆LightWave について

NewTek 社が開発する LightWave 3D は、直感的モデリングとアニメーションツール、そして最先端のレンダリングツールが統合された統合型 3DCG ソフトウェアです。また、他社 3D ソフトウェアの場合は追加料金がかかるはずのネットワークレンダリングにおいては、LightWave は Windows と Mac UB の 64 ビットと 32 ビットのクロスプラットフォームにおいて、999CPU まで一切費用はかかりません。LightWave は、映画・テレビのビジュアルエフェクト、印刷、ビジュアライゼーション、ゲーム開発、Web などの 3DCG 制作の現場で世界的に利用されています。また、LightWave は、他の 3D アプリケーションを利用して作成された以上に、数多くのエミー賞作品を世の中に送り出しています。

◆価格とリリース時期

LightWave 10 のリリース時期は、英語版として 2010 年 12 月頃を予定しています。

LightWave 10 リリース後の価格は、米国にて 1495ドル、アップグレード価格は 695ドルを予定しております。(LightWave 10 日本語版の価格は、現在メーカー側と検討中です。)

なお、現行の LightWave v.9.6 日本語版は、118,000 円(税別)です。そして、2009 年 6 月 1 日以降に LightWave v.9.6 日本語版をご購入された方は、LightWave 10 英語版を無償(ダウンロード提供)にてご利用することができます。(LightWave 10 英語版から日本語版へのアップグレード料金は、2 万円前後を予定しております。)

◆NewTek 社について

NewTek 社は、制作会社やアーティストに対して、より多くの利点、利益を提供するために、草分けのテクノロジー、そしてできるだけコストパフォーマンスに富んだ製品をお届けすることを主眼に、3D アニメーションツール

「LightWave 3D」、ポータブルライブプロダクション・映像編集ツール TriCaster や 3PLAY を開発、そして販売している開発集団です。

NewTek 社は、これまでにエミー賞を 2 回受賞しているほか、3DCG または映像業界から数多くの賞を表彰されています。

NewTek 社の製品は、最近の映画では Avatar、Repo Men、Alice in Wonderland、Tintin、The Dark Knight、Iron Man、Caprica、V、CSI: Crime Scene Investigation、Lost、Fringe、など、数多くの著名な映画、テレビ番組にて利用されています。

◆ディストームについて

ディストームは、NewTek 社の国内代理店として、1992 年 10 月に株式会社ディ・ストームとして設立、2005 年 4 月に株式会社エヌジーシーと経営統合しディ・ストームディビジョン、そして、2009 年 11 月に新会社として株式会社ディストームとして再設立させていただいた会社です。

新ディストームは、NewTek 社製品 LightWave 3D、TriCaster、3PLAY のローカライズ、そして、国内ディストリビューションを主事業としながら、3DCG や映像系分野におけるローカライズ業務、受託開発、プラグイン開発、加えて、イベントの開催など、ただ単なるモノ売り会社の領域を超え、よりクリエイター支援に視野をおいた事業活動を行う集団です。

このリリースに関する問合せ先

株式会社ディストーム

〒102-0076 東京都千代田区五番町2-4 カサ・ド・タク 50B

電話:03-5211-3208 FAX:03-5211-0207

電子メール:info@dstorm.co.jp

※会社名、製品名、システム名の商標および登録商標はそれぞれの社に帰属します。

※当プレスリリースに記載されている仕様、出荷時期、価格は、予告無く変更されることがあります。

LightWave 3D は、米国 NewTek 社の登録商標です。

TriCaster は、米国 NewTek 社の登録商標です。

LightWave、3PLAY、DataLink、TriCaster VM、TimeWarp、LiveControl、SpeedEDIT、VT[5]、iVGA、LiveSet、LiveMatte、LiveText、3D Arsenal は、米国 NewTek 社の商標です。

その他、記載の商品、会社名は、各社の商標または登録商標です。

本プレスリリースは、これまで弊社広報担当、または、セールス&マーケティング部担当とお名刺交換などをさせていただきましたプレス関係者様に対しまして、弊社取扱製品の最新情報やイベント情報をお知らせするリリースです。今後、弊社からプレスリリースをお受け取りになりたくない場合は、お手数ですがお名前とメールアドレスを下記メールアドレスあてにお送りください。

プレスリリース配信元:

株式会社ディストーム 広報担当 電子メール:info@dstorm.co.jp

住所: 〒102-0076 東京都千代田区五番町 2 番地 4 カサ・ド・タク 50B

Tel 03-5211-3208 (平日 10:00~18:00)
